



E-mail:honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10番 1号

TEL : 0897-32-0302

FAX : 0897-32-0311

宮中雲子会長が母校の小学校の校歌を作詞

NHK松山放送局のテレビ『校歌の旅』に出演

日本のお手玉の会の宮中雲子会長が、5月16日(金)午後8時から45分間放送されたNHK松山放送局のテレビ番組『愛媛の春』うたいつがれる心のふるさと『えひめ校歌の旅』に、テノール歌手の秋川雅史さんと一緒に出演しました。

入学式、卒業式で歌われる校歌は、それぞれの人の心に、友だちや自然の風景などとともに、いつまでも思い出として心に残っているものです。

最近では、少子化と平成の大合併などで、閉校する学校が増え、歌われなくなる校歌もたくさんあります。

そんな中で、NHK松山放送局では、毎週、小学校を1校ずつ訪ねる『校歌の旅』を放送しています。今回は、その特番として放送されたものです。

愛媛県西条市出身の秋川さんは、まず、母校の西条市立大町小学校を訪ね、在校生と一緒に、懐かしい校歌を歌う場面から、番組は始まりました。

そして、次に訪れたのは、宮中会長が生まれ育った西予市の三瓶小学校でした。三瓶小学校は、この春から近隣の周木小学校、二木生小学校、蔵貫小学校の3校と合併して新しい小学校になりました。

そして校歌も新しくなりましたが、その校歌を作詞したのが宮中会長です。

三瓶小学校では、東京から駆け付けた、新しい校歌を作詞した宮中会長と、作曲を担当した伊藤幹翁さんが、秋川さんを迎えました。

まず、在校生に、宮中会長から校歌の説明がありました。
「みなさんに、やさしい気持ちを持って、友だち同士がおつきあいをしてもらいたい。そして、夢をもって大きく羽ばたいてほしい。そういうことを願って詩を書きました。」

つづいて、伊藤さんがピアノを弾きながら、一小節ずつ歌唱指導をしました。最後に秋川さんが、新しい校歌を歌いました。在校生と居合わせた人たちから、大きな拍手が起きました。

そのあと、宮中会長が秋川さんを案内して、三瓶町では最も眺めのいい観音岬の展望台に出かけました。

宮中会長は、「緑豊かな山に囲まれた三瓶湾、おだやかな潮風、空の青さ、この素晴らしい風景を、歌の中に取り入れました。この美しい三瓶のイメージを心に残しながら、育ってほしい。というのが私の願いです」と、秋川さんに話していました。

『西予市立三瓶小学校校歌』

作詞 宮中 雲子 作曲 伊藤 幹翁

潮の香りに包まれて 吹いてる風もやわらかい
人との出会いを大切に 明るい笑顔を忘れない
三瓶 三瓶 三瓶小学校
三瓶 三瓶 三瓶小学校

夢の羽ばたく大空は いつでもみんなの上にある
強い心でたくましく 明日をめざして生きていく
三瓶 三瓶 三瓶小学校
三瓶 三瓶 三瓶小学校

山の緑に囲まれて 未来に希望をかかげてる
かたい絆でお互いに 励ましあって伸びていく
三瓶 三瓶 三瓶小学校
三瓶 三瓶 三瓶小学校



新しい校歌を在校生と一緒に歌う



歌詞の説明をする宮中会長



テノール歌手 秋山雅史さん
一小節ずつ歌唱指導する



愛媛県西予市
三瓶町の港の風景

